



トウモロコシ

販売開発部営農振興課
営農指導員 初芝 浩

農業

テクニカル

Agricultural-work

ダイアリー

technical diary



ブロッコリー

販売開発部営農振興課
営農指導員 初芝 浩



表② 平成31年度産 とうもろこし部会奨励品種

系統	品種名	種苗会社	日数タイプ	作型	播種時期目安	特 徴
イエロー	ゴールドラッシュネオ	サカタのタネ	82~83	早期トンネル	3月10日まで	雌穂はゴールドラッシュより大きめ、先端不稔は少なくよくそろうので秀品率が高い。若干ゴールドラッシュより草丈が高くなる。
	ゴールドラッシュ	サカタのタネ	83~84	トンネル・マルチ	3月20日までトンネル栽培	中早生タイプ。発芽、低温伸張性がよくハウス栽培から使える。先端不稔は少なく、収穫物は2Lで安定する。
	恵味スター	清水種苗	87			中早生タイプ、低温時の発芽安定。草丈は180~190cm程度で、根張りよく倒伏に強い、しなびが遅くもちがよい。
	ゴールドラッシュ90	サカタのタネ	90	3月20日以降マルチ栽培	熟期は90日の中晩生イエロー。絹糸抽出日から収穫までの期間はゴールドラッシュ並みだが、糖度が高くしなびにくい。草勢がよく、倒れにくい。	

※ゴールドラッシュは3月20日以降の播種は厳禁とします(適期収穫を心掛け、しなび発生を防止しましょう)。

と同様となります(表②)。品種の特徴を確認して、選定してください。



品種選定

●**対策**
過度な連作を避けるほか、薬剤防除としてはチルト乳剤25(1000倍、7日前、2回)、トリフミン水和剤(2000~4000倍、7日前、3回)に登録があります。



▲写真⑥ 葉に雲形ではじめは暗緑色水浸状から灰白色の大型病斑を形成

病害は雲形の斑点で、下位葉から上位葉へと進展します(写真⑥)。絹糸抽出期以降の発生が多く、早期に発生するほど被害が大きくなります。また、曇天が続く、その後高温多湿になった時に発生しやすくなります。前年の被害葉で越冬し、伝染源となるため、発病のあった圃場ではできるだけ作付を控えてください。



すす紋病

トウモロコシの病害については近年、すす紋病や紋枯病の発生が見られます。それぞれの特徴と対策を紹介します。



病害防除



▲写真⑧ 穂の病斑



▲写真⑦ 茎の病斑

●**対策**
薬剤防除としてはリゾレックス水和剤(1500倍、14日前、2回)に登録があります。



紋枯病

水はけの悪い圃場で発生します(写真⑦・⑧)。このため排水対策を行い、湿度を高めないようにします。

また、栽植密度の適正化と雑草防除を徹底してください。輪作などの耕種的防除も心掛けてください。

表① ブロッコリーの「黒すす病」「黒腐病」に登録のある殺菌剤

農 業 名	希釈倍率	使用時期	使用回数	黒すす病	黒腐病	特 性			他の適用病害
						予防	治療	浸透移行	
アミスター 20フロアブル	2000倍	3日前	3回	○		◎	○	○	べと病
アフェットフロアブル	2000倍	前日	3回	○		◎	△	△	菌核病
キノンドー水和剤40	800倍	14日前	3回		○	○	×	×	黒斑細菌病
Zボルドー	500倍	—	—		○	○	×	×	花蕾腐敗病

春作、秋冬作におけるブロッコリー栽培において、近年目立つ病害として「黒すす病」と「黒腐病」があります。今回、これらの病気について特徴とその対策について紹介します。



病害虫防除

黒すす病



▲写真② 初期病斑

▲写真③ 病斑の拡大



▲写真① 葉の病斑

病原菌はカビの一種で、菌糸あるいは胞子の形で被害残渣や種子から越冬伝染します。気温25℃前後、降雨と強風により発病しやすくなります。前作で被害が出た圃場では発病の可能性が高いため、連作は控えてください。



黒すす病

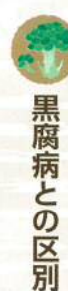
黒腐病



▲写真⑥ 花蕾の黒変

▲写真④ 葉緑のV字型の病斑

黒腐病ははじめ下葉の葉縁の水孔付近から黄化します。その後、葉脈から外側へ広がるV字形の黄褐色の病斑を形成して拡大します(写真④・⑤)。



黒腐病との区別

黒腐病ははじめ下葉の葉縁の水孔付近から黄化します。その後、葉脈から外側へ広がるV字形の黄褐色の病斑を形成して拡大します(写真④・⑤)。